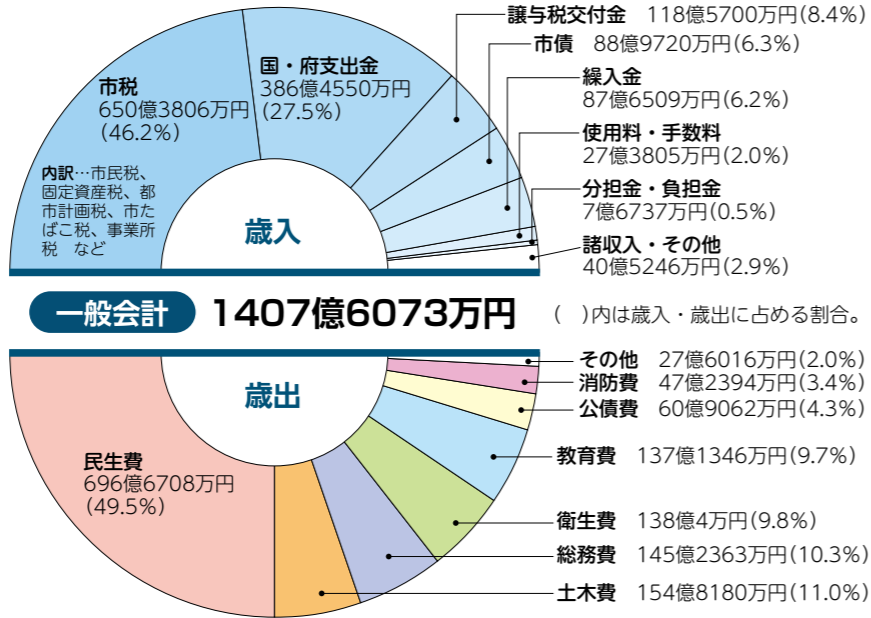


予算の使いみち 前年度比

民生費 高齢者や障がい者、 子供の福祉など	4.8%
土木費 公園や道路など	24.0%
総務費 窓口業務や文化、 スポーツなど	▲12.8%
衛生費 保健衛生、 ごみ処理費など	9.1%
教育費 学校教育や 生涯学習など	▲6.4%
公債費 市債(借金)の 返済など	7.4%
消防費 消防や救急など	4.5%



一般会計歳出の性質別内訳

	扶助費	人件費	補助費等	物件費	繰出金	普通建設事業費	公債費	その他	合計
予算額	320億9860万円	286億7553万円	219億7592万円	216億7355万円	151億737万円	118億7854万円	60億9051万円	32億6071万円	1407億6073万円
前年度比	0.1%	2.5%	13.1%	4.4%	32.4%	▲5.1%	7.4%	▲39.1%	4.1%

企業会計

水道事業	収益的収支		資本的収支	
	事業収益	事業費用	収入	支出
前年度比	▲3.8%	0.6%	▲68.5%	▲44.1%
水道事業	82億2303万円	65億1204万円	13億8450万円	45億4013万円
下水道事業	96億8926万円	87億8801万円	28億2280万円	64億3712万円
前年度比	▲1.4%	0.1%	▲11.6%	6.2%

特別会計

	前年度比
国民健康保険	▲1.4%
介護保険	5.8%
後期高齢者医療	▲3.4%
公共用地先行取得	534.5%
病院事業債管理	65.4%
部落有財産	▲6.3%
母子父子寡婦福祉資金貸付	▲7.5%
勤労者福祉共済	▲4.3%
合計	6.7%

1万円未満を四捨五入。合計金額が合わない場合があります。▲はマイナス。

市の予算は一般会計・特別会計・企業会計で構成し、一般会計は福祉・教育・建設など事業の大部分を賄っています。特別会計は特定の事業を一般事業と切り離して独立した経理で行い、企業会計は地方公営企業法の適用を受けるものです。

一般会計当初予算案の概要

一般会計の総額は1407億6073万円となり、前年度に比べ4.1%、55億6600万円の増加となりました。

歳出では、佐井寺西地区土地区画整理事業の進展などに伴い土木費が、私立保育所整備費の助成や社会保障関係費の伸びなどに伴い民生費が、新型コロナウイルス感染症対策などに伴い衛生費が、それぞれ増加しています。一方、歳入では、感染症の影響による景気動向を踏まえ、市税の減少を見込んでおり、これらにより生じる収支不足を解消するため、特例的に臨時財政対策債を発行します。

財政状況は厳しい局面を迎えています。市民サービスを維持するため、将来への必要な投資と持続可能な財政運営の両立に努めます。

当初予算案

市議会2月定例会に提案した令和3年度の当初予算案をお知らせします。市議会の承認を経て取り組みを進めます。

令和3年度

施政方針と当初予算案

2月19日～3月23日に開かれた市議会2月定例会で、後藤市長が新年度の施政方針を述べるとともに令和3年度当初予算案を提案しました。

市議会2月定例会への提案・提出資料は市議会ホームページで確認できます。

吹田市 施政方針 検索

施政方針

要約して紹介します。市ホームページに全文を掲載しています。

今ある課題に全力で取り組みながら、将来を見定めた決定を

中核市の権限を最大限に生かして

令和2年、市制施行80周年という吹田市の節目の年は、図らずも世界的にも大きな時代の転換期となりました。

急速に感染拡大した新型コロナウイルスにより、おしくなりになられた方には、心よりお悔やみ申し上げます。また、今日も症状と闘っているみなさまの、一日も早い回復をお祈り申し上げます。併せて、命と暮らしを支えるために欠かせない職務に従事しているみなさまには、深い敬意と感謝の意を表します。

一方で、これらの人々や感染した人、また、その家族が差別的扱いや、いじめを受けるという事例を聞き、心が痛みます。社会の人権意識をより高めるため、不断の努力が必要であることを痛感しています。

感染症がもたらした健康被害、経済的影響、そして、不安な気持ちに対応するために、住民に最も近くある自治体として、中核市としての権限を最大限に生かし、誠意を持って市政を運営してまいります。

有事を乗り切るために

令和2年度は、これまでになく多くの、また、厳しく重い問いに対し続ける1年でした。市民を守るための課題に対し、議会と共に、限られた時間の中で深く検討を行い、最適と思われる判断を重ねてまいりました。

今後は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税の大幅な減収が見込まれ、財政状況が厳しくなると予測されますが、必要な施策は進めなければなりません。市民にとって、「直ちに必要なこと、これから必要なこと」を継続して、総合的に判断し、この有事を乗り切ってまいります。

来るべき出口に向けて

新型コロナウイルス感染症のみならず、近年頻発する大規模自然災害や、厳しさを増す暑熱環境など、危機的な気候変動にも直面し、私たち一人ひとりの生活の仕方、社会のあるべき姿、ひいては生き方をも見つめ直す、そんな大きなうねりが起きていると感じます。



まちと、そこでの暮らしが持続可能であるために、守ること、創り育むこと、変革を決定すべきことは何なのか。先行きが不透明な今は、その答えを明確には提示しきれない時代であるといえます。

しかし、どんな時代であっても、大切なのは、多くの知恵を民主的に持ち寄り、時には前例のない道を選択していくことです。それにはリスクも伴いますが、私には、今ある課題に対処する同時に、将来も見定めた方向づけを行う責任があります。

そして、議会での議論を通じて、より適した選択を積み重ねることが、安心して豊かに暮らすことができる吹田市を守り、持続させる基本であることを、強く認識しています。

私たちは必ずこの危機を乗り越えることができると信じています。今回経験している教訓を政策に織り込み、来るべき出口に向けてさらに力強く市政を運営していく決意を申し上げます。令和3年度に向けた施政方針とさせていただきます。